



第4回スピーチ集会

県大会の体験を生かして (2年 東浜ななみ)



私は今年夏休み、卓球で県大会へ行き、今年2回目の県大会では去年とは違う体験をしました。去年私は、団体戦にしか出ていませんでしたが、今年は個人戦と団体戦両方に出ることができました。結果は去年と同じように惨敗でした。しかし、個人戦ではしっかりと点を取ることができ、団体戦では惜しいところまで行くことができました。去年はまだ卓球部に入ってから少し経っていきなり、相手のサーブの回転がわからなかったり、自分のサーブでミスをしてしまったり、緊張指定足が動かなかったりと、一年生でよくあるように負けてしまいました。しかし、二年生になり後輩も入ってきて、先輩に教えられるのが大変で自分の練習時間が減ってしまったりすることが多くなりました。でも、健先生や安次先生が一年に教えてくださったりおかげで県大会までの期間、しっかり練習することができました。

今回の県大会で感じたことは、沖縄本島の選手は、竹富町に住んでいる私たちとは比べものにならないくらいとても強かったです。試合をする前の顔つきや練習量など私たちとは全く違っていました。でも、その試合で一セットを取ったり、点数を取ったりすることができるとすごいことだなと思いました。私たちは、行事が多くて忙しく、練習をする時間が他の学校とは違い短いです。その中で中体連で勝ち、県大会へ行けることは、とてもすごいことだと思っています。

今回の県大会で、自分の苦手なサーブや試合をしてみて新しい課題が見つかりました。その現状課題を生かして今度の新人戦、そして来年の中大連に向けて練習していきたいです。

これからも後輩に教えながら自分もしっかりと練習し、次の大会に向けて頑張っていきたいと思っています。

県大会を通して、自分たちに足りないところやこれからどう練習していくべきなのか、ということまで考えているななみさんは、とてもすごいと思いました。来年はもっと1年生の人数が増えて教えるのが大変になると思いますが、頑張ってください。応援しています。

(3年 津嘉山朋花)

離島甲子園で感じたこと (1年 東 洋希)



僕たち野球部は、夏休み離島甲子園に行きました。そこでは、自分にも足りないところがありました。さんありがとうございました。

まず、一日目は他のチームの人たちの体格が大きいこととご飯の量に驚きました。そのチームの監督がお皿の中の食べ物がなくなる前にどんどん入れていくので、次は自分たちのところに入れてくるのではないかと思います。少し怖かったです。久米島の先輩方は、朝と夜のご飯の量が変わらなかったもので、食トレを意識できるようにになりました。

二日目はキャッチボールの大切さを知りました。キャッチボールで勝負をして結果は石垣島のチームが優勝しました。石垣島チームは、試合でも優勝しているの、キャッチボールという基礎がしっかりできるチームは強いということが分かりました。僕はまだリリースポイントがバラバラなので直していきたいです。

三日目、試合が始まり、守備ではセンターを守りました。そこでフライが飛んできて声をかければ取れるボールが取れなかったので悔しかったです。練習でしっかり意識したいです。最初の攻撃の時、一番打者が二塁打で塁に出て、そこから盛り上がりすぎていく感じがとても楽しかったです。これがチームのよさだと思いました。

四日目は全体的にだらだらしていて、朝遅刻したり、一つ一つの行動がとても遅かったです。試合は1対8で負けました。この朝からの行動から試合は負けていたのだと思います。最後はみんなで交流会をしていろいろな友達ができました。

この一週間、自分に足りないところや課題がたくさんありました。生活面では行動を早くする、あいさつなど、礼儀を正しく当たり前のことは当たり前にしていきたいです。野球の面では、基礎練習が足りないの、そこから始めていきたいです。一日一日で違う課題が見つかったのよかったです。その課題を意識して続けなきゃ意味がないので頑張っていきたいです。

県大会に行って戦った相手と自分を比べたりして、よかったです。スピードもよくて、とても聞きやすかったです。(1年 池間正和)

沃野



竹富町立
船浦中学校
学校便り
第19号

発行責任者
校長
仲田欣五

離島甲子園の間、毎日学んでいて、それをこれからの自分に生かそうと考えているのがよかった。また、日頃の生活の改善点が他校のチームを見て感じたことを心に留めて頑張ってください。スピーチお疲れ様でした。
(3年 村田海渡行)

キャッチボールの大会があるなんて、ビックリしました。基礎のキャッチボールができるチームは強いということがわかった。声の大きさや間のあけ方、速さなどがちょうどよく、聞きやすかったです。

(1年 砂川侑音)